

(別紙4(2))

事業所名 グループホームひなげし

目標達成計画

作成日: 令和 6年 9月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	コロナ禍前の交流が戻るよう、今後計画を立て、地域に働きかける取り組みをしてはいかかが。	ボランティア訪問依頼(ハーモニカ演奏など) 庭の整備をして植物を植えたり、野菜などの作物作り	ハーモニカ演奏は訪問してもらった方の連絡を取り日時の調整を行う 庭の整備に関しては本部に依頼済み。業者待ち	3ヶ月
2	6 (5)	玄関の施錠は身体拘束にあたるので、短時間でも開錠できるよう工夫し、外に行きたいという利用者には付添って外に出る支援に努めてはいかかが。	玄関の開錠に関しては慎重に検討を考えている 気分転換に外の出る機会を持てるようにする。	散歩などに出かけられるように職員の勤務体制を整える。 現状、日勤が2人の事が多い。日勤者を3人体制に出来るように、午後に行っていた入浴を午前の変更して、午後に外出来るようにする	3ヶ月
3	10 (6)	家族に利用者の生活の様子を知らせる手段がないので「ひなげし新聞」を再開したり、写真と利用者への個別の支援を文章にして渡す方等を検討してはいかかが。	定期的なひなげし新聞の作成	ひなげし新聞を作成して配布の準備を行っている。	1ヶ月
4	40 (15)	毎週月曜日にお好みドリンクを用意しているように、普段から徐々に利用者が希望する飲み物を提供し、選択の機会を設ける取り組みを検討してはいかかが。	月曜日だけではなく、他の曜日でも好きな飲み物を選んでもらえるようにする。	メニューを作る お盆等に飲みものを並べて好きな物を選んでもらえるようにする。	2ヶ月
5	45 (17)	前日入浴した利用者にも声かけをし、いつでも入浴できるといった情報を提供し、入浴する、しないを利用者自身が選択できる取り組みをしてはいかかが。	その日の入浴の対応が出来る人数に限りがある。 職員の負担にならるように入浴希望者の対応ができるように努力をしていく	職員の日勤者の体制を整える。	4ヶ月
6	49 (18)	コロナ禍で外に出ないことが習慣化することがないよう、利用者、家族の希望に沿って、日常的な外出の機会を設けることに取り組んではいかがかが。	天気の良い日には近隣を散歩。 季節に応じて、車でのドライブなどをする。	日勤者の人数の調整。また、行事を行う日の職員の確保。	4ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。